

●補装具

一人一人の状態に応じた補装具を使用し、学校での活動・学習に取り組んでいます。作製にあたっては、ご家庭や関係機関と連携してすすめています。

【車いす・バギー】



【座位保持装置】



【起立保持具・歩行器】



【装具類】



●支援機器

児童・生徒の「わかる」「できる」「楽しめる」を引き出すために、スイッチやパソコン、タブレット端末などの支援機器を活用しています。



●運動会/体育大会



学部ごとに実施しています。各学部が趣向を凝らし、普段の学習の成果を十分に発揮して、個人競技や団体競技で競い合ったり、「いか踊り」やよさこいソーランで盛り上がりたりと大いに楽しんでいます。

●あさひ祭り



小・中学部の児童・生徒は、日々の学習の成果を体育館ステージで発表します。高等部は、作業学習で作った製品の即売会や歌、ダンスなどの「高等部祭」を行います。

●宿泊研修・見学旅行



宿泊研修（小5年・中2年・高2年）と見学旅行（小6年・中3年・高3年）があります。

●交流及び共同学習



学部ごとに交流校と一緒に学習します。
小学部・・・旭岡小学校
中学部・・・旭岡中学校
高等部・・・函館大妻高等学校

この他にも、入学式・卒業式などがあります。新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の内容を変更して行う場合があります。

私たち北海道函館養護学校がめざす児童生徒の育ち

楽しんで学び続ける人
自分の考えを表現し、生き生きと活動する人
互いのよさを認め合い、人とのつながりをもてる人
命と心身の健康を大切にする人

北海道函館養護学校の御案内



児童・生徒が、持てる力を最大限発揮し、学校生活を送ることができるよう、肢体不自由特別支援学校ならではの施設・設備・備品などがあります。下の写真はその一例です。



【水道】
手が届きやすいように、取っ手が長くなっています。



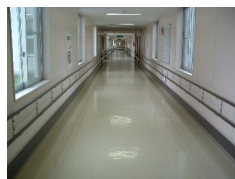
【鏡】
見えやすいように鏡面が斜めになっています。



【トイレ】
手すりやベッドなどがあります。



【家庭科室】
車いすにあわせて高さを調節できます。



【廊下】
手すりがあり、柔らかい床材を用いています。

卒業生の進路先は生活介護事業所が多く、就労継続支援事業所（B型）や施設入所もあります。

	卒業生	事業所等への通所		入所 入院等	その他
		介護系サービス (生活介護等)	就労系サービス (B型・移行・作業所等)		
～平成29年度	145	70 (うちグループホーム併用2)	40	24	11
平成30年度	12	9	2 (うちグループホーム併用1)	1	0
令和元年度	9	5 (グループホーム利用1)	2	0	2
令和2年度	10	6	3	0	1
令和3年度	3	3	0	0	0
令和4年度	1	1	0	0	0

2023年度版

<http://www.hakodateyogo.hokkaido-c.ed.jp/>

教育目標

子ども一人一人のもっている よさや個性を発揮できるようにし
心豊かに たくましく 社会で共に生きる力を育てる

※各学部、訪問、寄宿舎の()内の人数は令和5年4月1日現在のものです。

小学部の教育 (19名)

- 小学部では、さまざまな学習経験を通して、興味・関心の芽生えや広がり時期を大切にしながら、すすんで取り組んだり関わろうとしたりする気持ちを育てることをねらい指導をしています。

- 児童一人一人の発達段階や特性（興味・関心等）に合わせ学習の内容を選択し、学級を主としながら必要に応じて小集団（実態に近い複数の学級で編成）にて指導しています。

- 児童一人一人の学習の状況に合わせ、教科（音楽、体育等）や「各教科等を合わせた指導」（生活単元学習、日常生活の指導、かだい等）や「自立活動」の指導をしています。



交流教育



生活単元学習



かだい



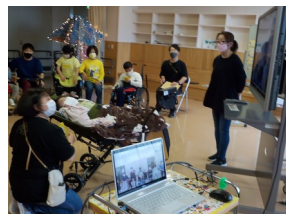
給食

中学部の教育 (10名)

- 中学部では、一人一人の良さや将来に必要な力を踏まえ、基礎・基本的な知識や技能の確実な定着や、人との関わりの広がりを図ることをねらい指導しています。

- 各教科ごとに、生徒の学習状況に合わせ内容を選択し、一人一人の生徒が生き生きと学習できる学習グループ（個別、小集団、大集団）を編成し、教科担任を配置し指導しています。

- 国語・数学などの教科を指導したり、「生活単元学習」「作業学習」など各教科等を合わせた指導や自立活動の指導をしています。



交流学习



体育



生活単元学習



音楽

クラブ活動

小学部4年生から高等部3年生までの児童生徒が、みんなで協力しながら、興味・関心のある学習活動に積極的に取り組んでいます。



高等部の教育 (13名)

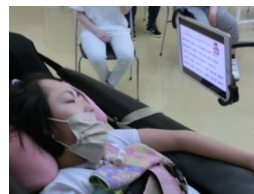
- 高等部では、生徒一人一人の良さを生かしながら、地域の環境（ひと、もの、こと）を積極的に活用した体験的な学習を通して、生活に密着した実践的な力を育てることをねらい指導しています。

- 生徒の学習の状況に応じ、教科や学習する内容を選択するとともに、生徒が生き生きと活動できるよう学習グループを編成し指導しています。

- 生徒が自らの在り方や生き方を考え、主体的に将来の進路を選択できるよう、事業所等の協力を得ながら「体験実習」に取り組んでいます。



作業学習



音楽



生活単元学習



卒業を祝う会

訪問教育 (小学部4名・中学部2名)

- 訪問教育は、「通学して教育を受けることが困難な児童・生徒に対して、家庭や病院に教員を派遣して行う教育」です。

- 訪問での指導は、一人一人の良さを大切に、児童生徒の様子に合わせ、自立活動を中心とした学習や教科等の学習活動を行っています。

- 生活経験の拡大を図るため、校外学習、学部や全校行事への参加を計画しています。

- ICTを活用し、学校とオンラインで結び、人との関わりを意識した学習を進めています。



あさひ祭り



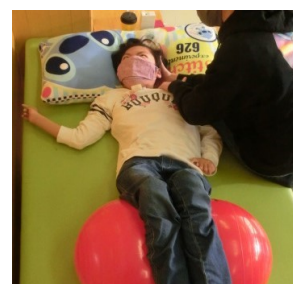
運動会



誕生会

自立活動

自立活動とは、「障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、自立し社会参加するための力を養う」学習です。自立活動教諭や、関係機関と連携をとりながら指導しています。



寄宿舎の教育 (5名)

- 寄宿舎は、居住地が遠隔地にある児童生徒に対して、通学を保障するために設けられている施設です。規則正しい生活を送りながら、お互いに励まし合い、一人一人の可能性に向かって努力をする場とすることや、生活経験の拡大を図るとともに、将来の自立に向けた日常生活及び集団生活における諸能力の向上を図ることを目的としています。

（遠隔地とは旧戸井町、旧恵山町、旧綴法華村、旧南茅部町を除く函館市以外です。）

- 【寄宿舎の一日の流れ（登校日）】
6:30 起床、洗面
7:45 朝食、歯磨き、登校準備
9:10 登校
13:30～15:10 下校(学年、曜日によって異なる)
入浴(週2回)
おやつ、水分補給、自由時間
舎友会活動
17:00 夕食
18:30 自由時間、就寝準備
20:00～21:00 就寝(学年や個人によって異なる)



浴室

- 寄宿舎には、舎室、食堂、浴室の施設があります。舎室は、1～2名で使い、ともに協力しながら生活しています。食事は全員そろって食堂で食べます。浴室は段差がなくスロープが設置されています。週2回の入浴の他、必要に応じてシャワー浴などもします。

- 寄宿舎の生活では、「身の回りのこと」として自分で行うことは自分であることを基本としています。「余暇時間」もあり、地域の施設を利用したり好きな活動をしたりして過ごします。全員で活動する行事もあります。なかでも「たけのこまつり（寄宿舎祭）」は一番大きな行事で、毎年、保護者の方も参加し一緒に楽しんでいます。



端午の節句

給食指導

「食べる」ことも大切な学習の一つです。「おいしく・楽しく・ちょっと正しく」を合い言葉に、ご家庭と協力しながら取り組んでいます。給食は、「普通食」「ソフト食」「ペースト食」を用意しており、児童生徒の状態にあわせた食事指導を行っています。



普通食



ソフト食



ペースト食

アクセス・お問い合わせ

〒042-0916 北海道函館市旭岡町2番地
TEL 0138-50-3311 FAX 0138-50-3312
MAIL hakodateyogo-zo@hokkaido-c.ed.jp



北海道函館養護学校
最寄りのバス停
旭岡生協前
旭岡中学校前

